

長野市歴史的風致維持向上計画 最終評価シート（素々案） 概要

1 長野市歴史的風致維持向上計画（歴まち計画）の概要

（1）目的

歴史及び伝統を反映した人々の営みと、その営みが行われる歴史的なまちなみとが一体となって形成してきた地域固有の良好な市街地の環境（以下「歴史的風致」という）を維持及び向上させ、本市固有の歴史・文化を活かしたまちづくりを進めること

（2）計画認定（歴史まちづくり法）

平成25（2013）年4月11日 主務大臣（文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）の認定

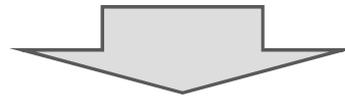
（3）計画内容

- 期間：平成25年度～令和5年度 ※令和3年度に1年延長し11年間の計画期間に変更
- 重点区域：「善光寺・戸隠地区」、「松代・若穂川田地区」、「鬼無里地区」の3地区
- 計画に位置付けた事業：全60事業（R4年度末時点、完了事業を含む）

2 歴まち計画 評価制度（最終評価）について

（1）法律上の位置付け

- 国は、認定市町村に対し、歴史的風致維持向上計画の実施状況に対し報告を求めることができる。（歴まち法8条）
- 国は、認定計画が認定基準に適合しなくなったと認められるときは、その認定を取り消すことができる。（歴まち法9条）



<進行管理・評価制度>

●進捗評価（毎年度実施）

施策・事業の進捗状況の評価 【自己評価】 → 進捗状況の評価を毎年実施し、評価結果を自治体のホームページで公表する。

●最終評価（最終年度に実施）

- ・計画の達成状況の評価 【自己評価】 → 方針の達成状況、計画の波及効果、歴史的風致の維持向上の状況について評価を実施し、評価結果を自治体のホームページで公表する。
- ・事業の質の評価 【外部評価】 → 歴史・文化、景観等の観点から適切な整備かなど、質について外部有識者等に評価していただく。
- ・1期計画の適切な評価 → 1期計画の実施に伴う効果や課題を適切に把握し、その内容を2期計画に反映することができる。

«国土交通省 「歴史的風致維持向上計画」策定に向けた手引き 抜粋»

(2) 最終評価

「最終評価」は**計画期間全体（長野市：H25～R5）を対象に**、成果を振り返りながら、計画の達成状況を評価するとともに、今後の課題を抽出し、各課題の解決に向けた対応を検討するもの

(3) 最終評価シートの構成（8つの様式）

- 統括シート：最終評価の主な評価対象を整理するためのシート
- **方針別シート**：計画に記載された各方針について、課題解決の達成状況を自己評価し、方針の設定や方針別の施策内容を検討するためのシート
- **波及効果シート**：計画に基づく取り組みの波及効果について、効果発現の状況を自己評価し、他の計画・制度との連携方策を検討するためのシート
- **代表的な事業の質シート**：計画に位置づけられた代表的な事業について、事業の質を自己評価・外部評価し、事業の進め方を検討するためのシート
- **歴史的風致別シート**：各歴史的風致について維持向上の状況を自己評価し、歴史的風致毎に施策の内容や方向性を検討するためのシート
- 庁内体制シート：計画の実施・推進に係る庁内の組織・体制について、内部評価を通じた検討を行うためのシート
- 住民評価・協議会意見シート：計画に基づく取り組みの成果について、地域住民・協議会等からの外部評価を整理するためのシート
- **全体の課題・対応シート**：自己評価・外部評価を通じて明らかになった課題と今後の対応を整理するためのシート

3 最終評価シート（素々案）の概要

●方針別シートの概要

方針別

I		歴史的建造物の保全と活用	
方針	歴史的建造物の保護措置を行い滅失を防止するとともに、空き家対策の面からも歴史的建造物の情報共有や利活用を進める。		
主な事業	善光寺本堂耐震補強事業ほか：指定文化財、登録文化財の保存整備 19事業 (H25～R5)		
自己評価 (成果)	重要な歴史的建造物である指定文化財等の保存整備や戸隠中社・宝光社地区の重要伝統的建造物群保存地区選定などの成果があった。また重点区域には適切な管理がされていない歴史的建造物があり対策が必要である。		
今後の対応	継続展開 国、県等の関係機関や地元のまちづくり団体等と連携して、 歴史的建造物の保護措置を継続していく 。また、保存整備にとどまることなく、市民、来訪者に見たり、触れたり、使ってもらい、その価値を認識してもらえよう 寺町商家、文武学校等の活用をモデルとして、歴史的建造物の利活用を図る 。		
 <p>長野市戸隠伝統的建造物群保存地区のまちなみ</p>			
II		伝統技術の継承	
方針	伝統技術を継承するために伝統的建造物群保存地区制度を活用し、住民や職人等と連携して伝統技術継承の仕組みをつくる。		
主な事業	戸隠地域建造物修理修景助成事業：8件の修理助成（うち茅葺き替え4件） (H29～R5)		
自己評価 (成果)	歴史的建造物の修理等への助成制度により、伝統技術を要する工事が継続して実施され、伝統技術の継承に寄与している。また、戸隠地区では、茅葺屋根の価値が再認識され、茅葺職人の移住、地域ぐるみで茅場の整備等が進んだ。		
今後の対応	継続展開 戸隠地区において、茅葺屋根の修理に必要な茅材を地元で賄えるよう、引き続き茅場整備を支援するとともに、 地域住民や若い世代への茅に係る伝統技術の継承と普及を図る 。また、伝統的建造物群保存地区及び伝統環境保存区域の制度を活用し 伝統的建造物を維持することで、伝統技術の継承を側面から支援する 。		
 <p>茅刈りの様子</p>			

方針別

Ⅲ 歴史的まちなみと周辺環境の保全

方針 住民の理解と協力を得ながら、電柱電線類の地中化や道路の美装化等を推進して、周辺環境の整備を進める。

主な事業

善光寺周辺地域道路美装化事業：周辺の景観に調和した舗装整備 施工延長 L=1,275m (H15～R3)

自己評価
(成果)

各種の事業実施によって、歴史的建造物と道路や水路などの周辺環境とが一体となり歴史的まちなみを感じられる良好な景観形成を推進した。

今後の対応

継続展開 引き続き無電柱化や道路美装化により良好な景観形成を推進するとともに、様々な制度を活用し、歴史的風致の維持向上を図る。また、歴史的風致を阻害しないアクセス駐車場の整備について、地域住民及び関係課と検討していく。



善光寺周辺
道路美装化
電柱類地中化

整備後(H28)

釈迦堂通り（長野北98号線）

Ⅳ 伝統的な祭礼等の継承

方針 地域住民をはじめ学校や育成会、専門家等と連携し、伝統的な祭礼等の特色や実施日等を広く発信するとともに、子どもたちが伝統的な祭礼に親しめる機会を持つことで担い手の育成につなげる。

主な事業

伝統芸能継承事業：伝統芸能の保存・継承団体に対する支援 (H28～R5)

自己評価
(成果)

活動団体への助成のほか、ながの獅子舞フェスティバル、伝統芸能こどもフェスティバルを開催し伝統芸能の披露の機会を設け伝統的な祭礼や芸能の継承を促進した。活動を披露する機会、また、来訪者が目にする機会となることで、伝統的な祭礼等の意義を伝え、継承への一助となった。

今後の対応

継続展開 少子高齢化の中、伝統的な祭礼等を継承できるよう各団体への支援や発表の場の提供、イベントや活動団体等の情報発信など継続して支援するとともに、若い世代が伝統的な祭礼や芸能と接点を持つための施策について、引き続き取り組む。



ながの獅子舞フェスティバル

方針別

V	文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光や情報発信		
方針	文化財や歴史的風致は重要な観光資源であることから、積極的な情報発信により観光振興につなげる。また、歩行者用説明案内板の整備、文化財をめぐるルートづくりにより歩行環境の充実を図る。		
主な事業	松代町文化財保存活用推進事業：文化財施設でのボランティア活動の推進、真田宝物館ホームページの多言語化（H25～R5）		
自己評価 (成果)	令和2年から流行した新型コロナウイルス感染症の影響で、インバウンドをはじめ、観光分野は大きな影響を受けたものの、文化財や伝統的な祭礼等の価値や魅力について、市と各地域・団体等が連携して情報発信をした。		
今後の対応	施策拡充 地域住民や関係団体、大学等と連携し、情報発信体制の強化、周遊ルートの構築、案内や説明のデジタル化など、文化財や歴史的建造物を利用して観光振興、地域活性化につなげていく。		



ボランティアのまち歩き研修

VI	歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等の調査研究		
方針	歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等について、未調査地域も含め長期的視点から総合的な調査を継続的に行う。		
主な事業	戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査事業：伝統的建造物群の保存のための調査（H26～H27）		
自己評価 (成果)	歴史的建造物等の調査を進めたことで、歴史まちづくりへの住民の理解促進、機運醸成が進んだほか、重要伝統的建造物群保存地区選定や史跡指定範囲拡大など重要な成果に繋がっている。		
今後の対応	継続展開 地域固有の歴史的風致の維持向上に向け、今後策定予定の 文化財保存活用地域計画と連携を取りながら 、文化財や歴史的建造物、伝統的な祭礼等の調査を継続的に実施し、 本市の多様な歴史や文化を把握した上で、総合的に保存・活用していく。		

●波及効果シートの概要

波及効果として、次の**3候補**を取り上げ（**国との協議必要**）

i 観光地利用者の推移

効果の概要

計画認定以降の**本市観光地利用者は1,000万人前後を維持**

効果発現の経緯と成果

本市の観光地利用者数は、特質した事項があった年を除き、およそ1,000万人前後で推移している。

これは、様々な重点施策を実施してきた成果であり、本計画に基づく歴史まちづくりもその要因の一つと考えられる。



自己評価

令和2年度以降の新型コロナウイルス感染症の影響による特殊要因があるものの、**観光地利用者数は一定数を維持した。善光寺や戸隠などを訪れる人数が多く、文化財や歴史的建造物と周辺環境の調和がとれた一体的整備を推進したことで、本市の歴史・文化の魅力が維持向上している表れと考えられる。**

令和4年度にコロナ禍で対策を講じた上で開催された善光寺御開帳では、全国から636万人の参拝者が訪れ、経済波及効果は推計1095億5千万円だったことから、本市歴史的風致が人々を引き付ける魅力があることが伺える。

今後の対応

保存整備した文化財や歴史的まちなみに多くの人に訪れてもらえるよう、地域住民をはじめ関係機関などと連携しながら、整備と情報発信に取り組み、来訪者の増加につなげる。

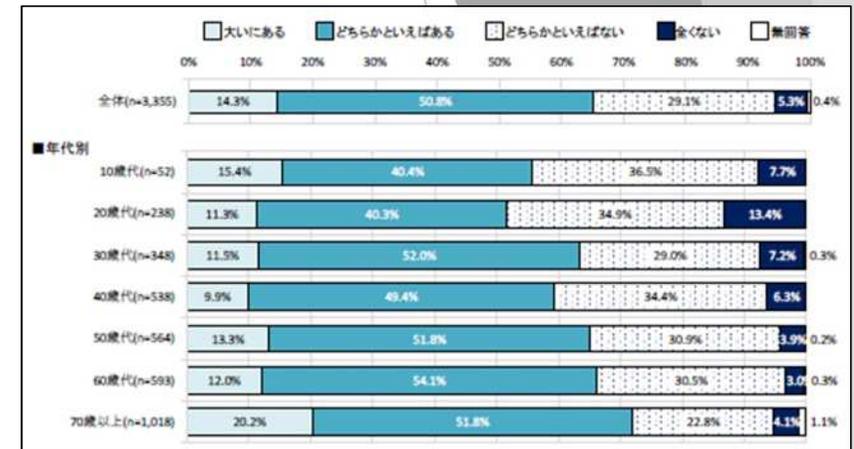
ii 市民の歴史・文化に対する関心の高まり

効果の概要

令和3年度まちづくりアンケートにおいて、「歴史や文化に関心がある」全体で約65%

効果発現の経緯と成果

令和3年度の「長野市における文化財の保存と活用をめぐる状況」アンケートにおいて、「長野市の歴史や文化について関心がありますか」の質問に対し、「関心がある」が約65%、また、「長野市の歴史や文化を保存・活用することは、重要だと思いますか」に対し「そう思う」に約85%の回答があった。



「長野市の歴史や文化に関心がある」約65%

自己評価

文化財の保存や周辺環境の整備、祭礼のPRなどのほか、景観計画や屋外広告物条例等による指導や誘導により、各地域で時を超えて育まれてきた歴史・文化を背景とした良好な景観や行事が維持されていることで、市民の歴史・文化に対する関心の高さに繋がっている。

今後の対応

多くの市民に歴史ある地域の伝統や文化に触れたり感じたりしていただけるよう、地域住民と連携して、歴史的資源を活用した住民活動の支援や歴史的まちなみの整備により地域の魅力を高めていく。

iii 住民主体の積極的な歴史まちづくり活動

効果の概要

各地域で、住民主体のまちづくりに関する取り組みが活発化

効果発現の経緯と成果

戸隠地区では、戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会が中心となり、宿坊など歴史的な建造物の維持や保存活用への住民意識の醸成に取り組んできた。平成29年2月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されことにより、地域住民の歴史まちづくりに関する意識が一層浸透し、茅の刈り取り体験など住民主体のまちづくり活動が積極的に行われている。

また、松代地区では、「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」、「松代文化財ボランティアの会」、「エコール・ド・まつしろ倶楽部」など地域住民組織が、地区内に数多く残る歴史的文化遺産を掘り起して磨き上げ、地域資源を活用した様々な歴史まちづくり活動を実施している。なお、「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」、「松代文化財ボランティアの会」は、国土交通大臣表彰の手づくり郷土賞を受賞している。



「夢空間松代のまちと心を育てる会」
手づくり故郷賞受賞(R4.11)

自己評価

文化財や景観の整備に合わせ、長い歴史と日々の暮らしに根差し周囲の環境と一体となった特色ある景観を地域ぐるみで維持しようとする意識が定着するとともに、地域の歴史、文化を見つめ直し、守り伝えようとする住民の主体的な活動が継続している。

今後の対応

文化財や歴史的建造物の保存、道路整備などのハード面の整備とともに、地元住民による歴史的・文化的なまちづくり活動への支援を行うなど、今後も住民と連携した歴史まちづくりを進める。

● 代表的な事業の質シートの概要

計画期間全体（H25～R5）で、総合的に見て計画上の重要度が高い事業を**候補として**選定

候補 1 善光寺周辺地域道路美装化事業

善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、宿坊群の路線において、計画策定以前の平成15年度から継続して道路美装化（石畳舗装）を実施。令和3年度に進捗率100%となり、令和4年善光寺御開帳に間に合ったことで、参拝者に本市が持つ歴史・文化の魅力を感じていただくことができた代表する事業。

候補 2 戸隠茅場整備事業

戸隠神社中社・宝光社の歴史的町並みを構成する茅葺屋根の歴史的建造物を適切に保存できるよう、地元での茅材の確保と技術の継承を目的とした、地域住民が主体的に活動している茅場整備事業であり、毎年定期的に、地域住民を中心に学生や地域外からの参加者が、茅場である戸隠スキー場中社ゲレンデにおいて、茅刈り体験を行っている。

伝統的技術である茅葺きを通じて外部へも広がりをもたせ、歴史的風致を普及、啓発する代表的な事業。

候補3 史跡松代城跡保存整備事業

松代城下町としての魅力向上を図るため、これまでも道路美装化や水路整備をはじめ、旧文武学校、寺町商家の整備など歴史的建造物等の保存事業を数多く実施。中でも、「松代の象徴」・「地元の誇り」である松代城跡の整備は、調査研究を重ね、平成28年度から第2期整備に取り組む。

歴まち計画（第2期）においても、関連事業を含む総合的な事業の中核として、地元まちづくり組織や関係機関の協力の下、推進していく必要がある代表的な事業。

候補4 鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業

鬼無里観光振興会が、鬼無里地域に数多く残る神社や伝統的な祭礼等をホームページやSNSで発信し、鬼無里地域の魅力を広く伝えるとともに、地域住民との協働で、地域に昔からある、ありのままの風景を楽しみながら歩くことができるコースを紹介したガイドマップ「鬼無里フットパス」を作成し、鬼無里地区全体の見どころ情報を発信している。

地域の関係団体が、主体的に情報発信を行い、伝統的な祭礼等を広く普及・啓発している代表的な事業。

※ 代表的な事業については、今後、変更する場合があります。

● 歴史的風致別シートの概要

歴史的風致毎に、達成状況を自己評価し、今後の施策内容や方針等を検討

【凡例】

長野市歴史的風致
維持向上計画重点区域



白髯神社の祭礼



鬼無里神社の祭礼と町屋



諏訪神社の御柱祭



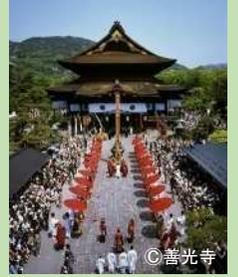

戸隠神社の式年大祭



戸隠信仰と戸隠古道



善光寺御開帳



弥栄神社の御祭礼



善光寺周辺神社の祭礼



1 善光寺御開帳にみる歴史的風致 <状況の変化：向上> 【善光寺・戸隠地区】

自己評価

善光寺本堂耐震補強事業や善光寺経蔵保存修理事業など、文化財や歴史的建造物の保存修理をはじめ、周辺路線の電柱電線類地中化、美装化、隣接する城山公園の再整備等を実施し、善光寺周辺の**良好な景観を形成**するとともに、中央通り（善光寺表参道）の歩道拡幅や地域交流拠点整備により、参拝者の**安全性及び回遊性が向上**した。

今後の対応

御開帳の開催を見据えながら、地域住民の意向を踏まえつつ**善光寺周辺の良好な景観形成に向け、整備路線の追加など検討**をしていく。

また、**門前町としての魅力を発信**し、御開帳時のみならず交流人口の増加に向け、**継続して賑わいあるまちづくり**に取り組む。

2 弥栄神社の御祭礼にみる歴史的風致 <状況の変化：向上> 【善光寺・戸隠地区】

自己評価

善光寺周辺道路美装化事業や中央通り（善光寺表参道）歩行者優先道路化等の施設整備を行い、**良好な景観形成、沿道空間の確保**を図るとともに、屋台の保管状況を確認して現状を明らかにし、**組立、補修等の支援**を行うことで、弥栄神社の御祭礼における**屋台巡行の歴史的風致が向上**した。

伝統的祭礼の継承や巡行の担い手確保のために、**更なる積極的な情報発信が必要**である。

今後の対応

本市の初夏を代表する伝統的祭礼を継承するため、屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対する**支援を引き続き実施**していくとともに、歴史を有する祭礼の主要な行事である屋台巡行の担い手確保や、**観光振興、地域活性化**を図るため、**関係団体と連携し、積極的に情報を発信**していく。

3 善光寺周辺寺社の祭礼にみる歴史的風致 <状況の変化：維持> 【善光寺・戸隠地区】

自己評価

歩行者優先道路化事業を始め、善光寺の表参道となる中央通りとともに善光寺周辺や宿坊界隈の通りの環境整備を実施したことで、**景観及び歩道機能が向上し、アクセス・回遊性が向上した**。また、伝統芸能を守り伝えるために活動する団体への経費助成のほか、整備を行った中央通り等での伝統芸能披露の機会提供など、**伝統芸能継承に関し支援を行い、善光寺周辺の歴史的風致を維持している**。

今後の対応

弥栄神社の御祭礼や諏訪社系神社の御柱祭など善光寺周辺寺社の祭礼を一体的に捉えた上で、景観及びアクセス向上となる道路美装化等を検討していく。また、地域色豊かな伝統的祭礼や伝統芸能の継承への**支援を継続するとともに、観光客が訪れてもらえるよう情報を発信していく**。

4 戸隠神社の式年大祭にみる歴史的風致 <状況の変化：向上> 【善光寺・戸隠地区】

自己評価

伝統芸能への助成とともに、**伝建制度を活用した保存事業等の実施によって、戸隠の魅力が高まり、地区を訪れる来訪者が増加した**。このことで、**住民による歴史まちづくり活動はさらに活発的となり、伝統技術の継承と良好な景観形成が促進され、祭礼と場とが一体化した、質の高い歴史的風致を創り出している**。

今後の対応

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、妙高戸隠連山国立公園の一部にもなっている中社・宝光社地区の歴史的なまちなみ景観を一層向上させるため、**戸隠地域建造物修理修景助成事業を引き続き進めていくとともに、周囲の歴史的景観に調和した道路美装化や、戸隠伝統的建造物群保存地区の特性に配慮した防災対策を進める**。

5 戸隠信仰と戸隠古道にみる歴史的風致 <状況の変化：維持> 【善光寺・戸隠地区】

自己評価

戸隠古道の歴史や現状の調査結果を踏まえ、地元住民の協力を得て、整備やイベントを行い、埋もれつつあった地域資源の歴史的な価値が再認識された。

また、戸隠伝統的建造物群保存地区内の古道周辺にある歴史的建造物についても適切な修理を行い、良好な景観が維持されるとともに、修復技術の継承が図られた。

戸隠古道の認知度を高めるため、情報発信の工夫が必要である。

今後の対応

戸隠信仰と戸隠古道を総括的に捉えた上で、戸隠中社・宝光社地区の歴史的なまちなみ景観を向上させるため、戸隠地域建造物修理修景助成を継続するとともに、周囲の歴史的景観に調和した道路美装化や眺望景観を向上させる電柱電線類移設についても、地域住民や関係機関と協議しながら進めていく。

また、多くの人に戸隠が持つ歴史的価値や魅力を認識してもらい、歩いてもらえるよう、計画的な整備、ストーリー性ある情報を発信をしていく。

6 水路と庭園にみる松代城下町の歴史的風致 <状況の変化：維持> 【松代・若穂川田地区】

自己評価

条例による誘導や登録文化財の増加、地域住民の主体的な活動により、松代城下町特有の水路や庭園にみる歴史的風致が維持されるとともに、観光振興にもつながっている。

伝統環境保存区域内で、宅地分譲などの開発行為による伝統環境の滅失や世代交代に伴う空き家の事例が増えており、地域と行政が連携して歴史まちづくりの取り組みを継続していく必要がある。

今後の対応

地域住民の理解と協力をいただきながら、歴史的建造物、水路や庭園の保存を進め、城下町としての魅力ある伝統環境の維持と向上を図るとともに、これらを外国人観光客や移住希望者などの来訪者に魅力のある観光資源に磨き上げる。また、条例に基づく誘導により伝統環境の保存に取り組む。

7 祭礼にみる松代城下町の歴史的風致 <状況の変化：維持> 【松代・若穂川田地区】

自己評価

祇園祭（天王祭）の神輿巡行の舞台となる松代城下町内の道路美装化や象徴的な建造物等の保存整備、防火対策などにより、**伝統的な祭礼を助長する環境が整い、歴史的風致が向上した。**

また、地元まちづくりNPO法人の祭礼に関する情報発信により、観光資源にもなった。

少子高齢化の進展に伴い祭礼に関わる人材や担い手が不足しており、**伝統的祭礼の継承が課題である。**

今後の対応

祇園祭（天王祭）を含め**松代城下町の歴史的風致を一体として捉え、市民やインバウンドを含む来訪者に向け魅力を発信することで、観光振興や地域活性化につなげる。**

8 大室古墳群にみる歴史的風致 <状況の変化：維持> 【松代・若穂川田地区】

自己評価

エントランスゾーンや大室古墳館の整備が完了し、史跡保存整備は計画通り進めているが、アクセス道路の整備に時間を要している。

大室古墳館の入場者数が年4,000人程度あることから、大室古墳群がもつ歴史的価値や魅力は認められる。

古墳の保存整備や周辺環境の整備を継続するとともに、アクセス道路の早期整備を進める必要がある。

今後の対応

引き続き古墳群周辺の自然環境を保全し、園路や説明板等の設備を整えて利便性を高めるとともに、地域住民の協力の下、地権者からの同意を得てアクセス道路の整備を進める。また、引き続き、第2期整備として遺構復元整備ゾーンの保存整備を進めるとともに、古墳群の貴重な価値や多彩な魅力を掘り起こして、より効果的に情報を発信していく。

9 街道と川田宿にみる歴史的風致 <状況の変化：維持> 【松代・若穂川田地区】

自己評価

川田宿ガイドの会では、定例会や先進地での研修によりガイド技術を磨きながら、来訪者へのガイド活動を行っているほか、冊子「川田宿の遺跡・文化財の再発見」（R3.1.12発行）を作成してPRを行うなど、川田宿がもつ歴史的風致を伝承している。

また、川田宿の歴史を伝える資料館及び案内拠点としての旧信濃川田駅舎の利活用については、地域住民が主体的に活動できるよう支援を行っている。

引き続き、活動を支援するとともに、地域住民との協議を継続していく。

今後の対応

川田宿のPR活動や信濃川田駅舎の利活用など、**住民主体のまちづくり活動を支援する。**

また、松代城下町との関連に着目し、北国街道松代道の宿場の一つとして歴史的風致の魅力向上を検討していく。

10 白髯神社と祭礼にみる歴史的風致 <状況の変化：維持> 【鬼無里地区】

自己評価

鬼無里観光振興会と連携してホームページやSNSで情報発信し、鬼無里ふるさと資料館の来場者が一定数あることから、情報発信の効果があったと考えられる。精巧な彫刻のある屋台の保存、地域住民が集い開催される祭礼は、地域の大きな魅力となっている。

今後の対応

鬼無里地区の魅力さをさらに知っていただけるよう、地区内の寺社等の歴史的建造物及び祭礼の歴史的風致を一体的にまとめ、その歴史的風致について物語性を持って発信し鬼無里地区全体の認知度を高めていく。

11 鬼無里神社の祭礼と町家にみる歴史的風致 <状況の変化：維持> 【鬼無里地区】

自己評価

文化財の屋台を活用した祭礼が開催され、来訪者にも曳き手として参加してもらうことで、地域独自の文化を感じてもらうことができた。

また、屋台巡行を継承するため、専門家を派遣して地域住民の主体的な検討を支援したほか、巡行ルート沿いの歴史的建造物を保存修理し、歴史的風致を向上させた。

鬼無里ふるさと資料館のホームページの多言語化を進め情報発信を強化できた。

今後の対応

鬼無里地区の魅力をさらに知っていただけるよう、地区内の寺社等の歴史的建造物及び祭礼の歴史的風致を一体的にまとめ、その歴史的風致について物語性を持って発信し鬼無里地区全体の認知度を高めていく。

12 諏訪神社の御柱祭にみる歴史的風致 <状況の変化：維持> 【鬼無里地区】

自己評価

令和4年の御柱祭は、受け継がれてきた祭礼を継承しようとする地域住民の強い思いで、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催された。また、鬼無里観光振興会による情報発信や地元大学生との連携により、御柱祭は賑わいをみせていた。

地域の魅力を継続的に発信して認知度を高めていく必要がある。

今後の対応

鬼無里地区の魅力をさらに知っていただけるよう、地区内の寺社等の歴史的建造物及び祭礼の歴史的風致を一体的にまとめ、その歴史的風致について物語性を持って発信し鬼無里地区全体の認知度を高めていく。

●全体の課題・対応シートの概要

課題

(1) 歴史的建造物等の保存に関する課題

人的・経済的な負担や歴史的価値の認識が浸透していないことなどから、滅失・空き家化が進行している。

(2) 地域に残る伝統と生業なりわいの継承に関する課題

担い手や資金の不足による活動縮小、また歴史的建造物の滅失による修復する技術を活用する機会の減少により、これらの継承が困難になっている。

(3) 歴史的まちなみと周辺環境の整備に関する課題

これらの事業は、長期にわたる取り組みを要することから、継続して実施する必要がある。

(4) 歴史的風致を活かした観光振興・地域活性化に関する課題

長く受け継がれてきた地域固有の伝統や文化の背景にある魅力あるストーリーを市民や来訪者に効果的に伝える必要がある。

(5) 歴史文化の調査研究に関する課題

文化財を活かす活動が個別に展開されているため、個別の事業で調査研究は進められているが、一体的、網羅的に進め、各地域の文化財や歴史的建造物等の保存活用につなげる必要がある。

対応・方針

(1) 歴史的建造物等の保存に関する方針

適切な措置がされていない歴史的建造物等に対し、国等の支援策を活用して、歴史的価値の高い建造物等の保存に、継続して取り組む。

(2) 地域に残る伝統と生業の継承に関する方針

幅広い情報発信などにより、若い世代と接点を持ち、担い手の確保、継承者の育成について、引き続き取り組む。また、歴史的建造物の保存事業などにより、地域での生業の継承につなげる。

(3) 歴史的まちなみと周辺環境の整備に関する方針

地域住民の理解と協力を得ながら、地域固有の歴史や文化が感じられる良好な景観形成と歩いて楽しめる環境の整備を図る。

(4) 歴史的風致を活かした観光振興・地域活性化に関する方針

地域住民や関係団体、大学等と連携し、周遊ルートの構築、案内・説明情報のデジタル化などを進めるとともに、効果的な情報発信の手法や体制を整え、観光振興、地域活性化につなげる。

(5) 歴史文化の調査研究に関する方針

地域固有の歴史的風致の維持向上に向け、文化財保存活用地域計画と連携を取りながら、文化財や歴史的建造物、伝統的な祭礼等の調査を継続的に実施し、本市の多様な歴史や文化を把握した上で、総合的に保存、活用していく。